



平成22年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月3日

上場会社名 コカ・コーラウエスト株式会社 上場取引所 東・大・福
 コード番号 2579 URL <http://www.ccwest.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉松 民雄 (TEL) 092-641-8585
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 角町 誠 配当支払開始予定日 平成22年9月1日
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第2四半期の連結業績（平成22年1月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第2四半期	169,182	△4.5	1,280	—	1,438	—	810	—
21年12月期第2四半期	177,188	—	△1,346	—	△1,114	—	△1,708	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第2四半期	8.10	—
21年12月期第2四半期	△17.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第2四半期	326,971	221,100	67.6	2,210.80
21年12月期	326,818	222,816	68.2	2,227.96

(参考) 自己資本 22年12月期第2四半期 221,024百万円 21年12月期 222,741百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	21.00	—	21.00	42.00
22年12月期	—	20.00	—	—	—
22年12月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成22年12月期の連結業績予想（平成22年1月1日～平成22年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	369,300	△0.1	7,000	212.1	6,600	216.5	3,600	—	36.00

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3 「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：無

② ①以外の変更：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年12月期 2 Q	111,125,714株	21年12月期	111,125,714株
22年12月期 2 Q	11,150,948株	21年12月期	11,150,278株
22年12月期 2 Q	99,974,923株	21年12月期 2 Q	99,977,025株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって業績予想とは大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、[添付資料] P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

目 次

頁

添付資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の改善や緊急経済対策の効果により景気は持ち直しつつあるものの、デフレが継続し、また依然として失業率が高水準にあるなど、厳しい状況で推移いたしました。

清涼飲料業界におきましても、雇用・所得環境の厳しさから依然として消費者の節約志向は強く、また天候不順の影響等もあり、清涼飲料市場は引き続き厳しい状況が続いております。

このような厳しい経営環境の中、当社グループは、「営業の変革」、「SCM（サプライチェーンマネジメント）の変革」、「お客さま起点への行動変革」の「3つの変革」を徹底して実行し、収益目標を必ず達成することを経営方針とし、厳しい経営環境においても着実に利益を上げることができる「筋肉質で強固な企業集団」を目指し、グループ一丸となって種々の課題に取り組んでおります。

昨年実施した当社と営業機能を担う子会社との統合に引き続き、平成22年1月1日付で、当社グループにおいてエリア別に販売および物流を担当していた西日本ビバレッジ株式会社、コカ・コーラウエストジャパンセールス株式会社および関西ビバレッジサービス株式会社の3社を、「ウエストベンディング株式会社」、「西日本ビバレッジ株式会社」および「コカ・コーラウエストリテールサービス株式会社」の3社に事業別に再編し、さらなる営業・販売機能の強化および間接コストの削減を推進しております。

当第2四半期連結累計期間の経営成績の状況は、次のとおりであります。

<売上高>

消費低迷や天候不順など依然として厳しい環境の中、販売数量は減少いたしました。これにより、売上高は前第2四半期連結累計期間に比べ80億5百万円減少し、1,691億8千2百万円（前年同期比4.5%減）となりました。

<営業損益>

売上高は減少いたしました。在庫圧縮による輸送費削減などのSCM（サプライチェーンマネジメント）関連費用の低減や、グループを挙げて取り組んでいるコスト削減等により、営業損益は、前第2四半期連結累計期間に比べ26億2千7百万円改善し、12億8千万円の営業利益となりました。

<経常損益および四半期純損益>

営業損益の改善を主要因として、経常損益は、前第2四半期連結累計期間に比べ25億5千2百万円改善し、14億3千8百万円の経常利益となりました。また、前第2四半期連結累計期間において発生していた当社と営業機能を担う子会社との統合に伴うグループ再編関連費用などの特別損失が、当第2四半期連結累計期間において発生しなかったことなどにより、四半期純損益は、前第2四半期連結累計期間に比べ25億1千9百万円改善し、8億1千万円の四半期純利益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億5千2百万円増加し、3,269億7千1百万円（前連結会計年度比0.0%増）となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ18億6千8百万円増加し、1,058億7千1百万円（同比1.8%増）となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ17億1千6百万円減少し、2,211億円（同比0.8%減）となりました。これは主に、配当金の支払いによるものであります。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況等につきましては、次のとおりであります。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動によるキャッシュ・フローは、119億5千7百万円のプラス（前年同期10億5百万円のプラス）となりました。前第2四半期連結累計期間においては、需給管理体制の変革に伴い、たな卸資産が増加するとともに、買掛金等の仕入債務が増加しておりました。これに加え、税金等調整前四半期純損益が改善したことなどにより、当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間に比べ109億5千1百万円増加しております。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動によるキャッシュ・フローは、55億1千6百万円のマイナス（前年同期121億7千6百万円のマイナス）となりました。前第2四半期連結累計期間においては、大型投資にかかわる支出が発生しておりました。このことが主要因となり、当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間に比べ66億5千9百万円のプラスとなりました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動によるキャッシュ・フローは、28億7千7百万円のマイナス（前年同期44億2千7百万円のプラス）となりました。前第2四半期連結累計期間においては、運転資金として銀行借入を行いました。このことが主要因となり、当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間に比べ73億4百万円のマイナスとなりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ35億6千3百万円増加し、747億8千4百万円（前年同期比370.9%増）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は、雇用・所得環境の厳しさから依然として続く消費低迷や、天候不順の影響など厳しい環境の中で、グループを挙げて取り組んでいるコスト削減等により、営業損益、経常損益、四半期純損益は計画を上回りましたが、飲料業界の最盛期である夏場の天候や消費低迷の継続等のリスクを考慮し、平成22年12月期通期の連結業績予想につきましては、平成22年2月3日に公表いたしました業績予想を変更していません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,199	20,634
受取手形及び売掛金	22,414	21,630
有価証券	56,035	51,335
商品及び製品	24,359	22,861
仕掛品	139	0
原材料及び貯蔵品	2,404	2,055
その他	15,718	17,779
貸倒引当金	△125	△131
流動資産合計	140,144	136,164
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	34,843	34,907
機械装置及び運搬具（純額）	20,131	19,010
販売機器（純額）	23,375	23,905
土地	52,796	53,006
リース資産（純額）	3,690	4,605
建設仮勘定	—	385
その他（純額）	1,625	1,801
有形固定資産合計	136,463	137,622
無形固定資産		
のれん	1,481	2,112
その他	4,274	4,344
無形固定資産合計	5,755	6,457
投資その他の資産		
投資有価証券	26,594	27,658
前払年金費用	10,853	11,606
その他	7,546	7,753
貸倒引当金	△387	△445
投資その他の資産合計	44,608	46,573
固定資産合計	186,826	190,653
資産合計	326,971	326,818

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,593	17,309
リース債務	2,226	2,645
未払法人税等	844	783
未払金	16,178	13,925
その他	5,390	6,440
流動負債合計	44,233	41,105
固定負債		
社債	50,000	50,000
リース債務	1,549	2,050
退職給付引当金	5,510	5,512
役員退職慰労引当金	8	16
負ののれん	414	622
その他	4,153	4,694
固定負債合計	61,637	62,897
負債合計	105,871	104,002
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,231	15,231
資本剰余金	109,072	109,072
利益剰余金	122,885	124,174
自己株式	△25,760	△25,759
株主資本合計	221,429	222,718
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△404	23
評価・換算差額等合計	△404	23
少数株主持分	75	74
純資産合計	221,100	222,816
負債純資産合計	326,971	326,818

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
売上高	177,188	169,182
売上原価	98,222	92,856
売上総利益	78,965	76,326
販売費及び一般管理費	80,311	75,046
営業利益又は営業損失(△)	△1,346	1,280
営業外収益		
受取利息	58	73
受取配当金	146	153
負ののれん償却額	180	207
持分法による投資利益	95	132
その他	192	206
営業外収益合計	674	773
営業外費用		
支払利息	153	346
固定資産除却損	163	164
その他	125	103
営業外費用合計	441	615
経常利益又は経常損失(△)	△1,114	1,438
特別利益		
固定資産売却益	—	95
補助金収入	165	118
事業譲渡益	—	34
特別利益合計	165	249
特別損失		
固定資産除却損	107	—
投資有価証券評価損	29	17
ゴルフ会員権評価損	10	—
グループ再編関連費用	695	—
販売機器設置対策費用	550	—
本社移転費用	354	—
リース会計基準の適用に伴う影響額	52	—
特別損失合計	1,800	17
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,748	1,669
法人税、住民税及び事業税	352	740
法人税等調整額	△1,394	114
法人税等合計	△1,042	854
少数株主利益	1	5
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,708	810

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,748	1,669
減価償却費	11,654	10,882
のれん償却額	—	113
負ののれん償却額	△180	△207
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3	△8
退職給付引当金の増減額(△は減少)	29	△1
前払年金費用の増減額(△は増加)	853	752
受取利息及び受取配当金	△205	△226
支払利息	153	346
持分法による投資損益(△は益)	△95	△132
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△0	—
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	29	17
固定資産売却損益(△は益)	△0	△98
固定資産除却損	414	125
売上債権の増減額(△は増加)	△1,925	△783
たな卸資産の増減額(△は増加)	△20,776	△2,012
その他の資産の増減額(△は増加)	4,172	2,280
仕入債務の増減額(△は減少)	10,401	2,321
その他の負債の増減額(△は減少)	△1,288	△2,169
その他	218	84
小計	709	12,952
利息及び配当金の受取額	183	211
利息の支払額	△111	△348
法人税等の支払額	△2,851	△1,002
法人税等の還付額	3,075	145
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,005	11,957
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△9	△37
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	1,500	—
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	—	705
固定資産の取得による支出	△15,101	△7,032
固定資産の売却による収入	18	353
事業譲渡による収入	—	628
出資金の回収による収入	2,042	—
長期貸付けによる支出	△717	△177
長期貸付金の回収による収入	147	145
定期預金の預入による支出	△95	△212
定期預金の払戻による収入	39	110
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,176	△5,516

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	8,000	—
長期借入金の返済による支出	△194	—
リース債務の返済による支出	△1,171	△773
自己株式の取得による支出	△4	△1
自己株式の売却による収入	2	0
配当金の支払額	△2,199	△2,099
少数株主への配当金の支払額	△4	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,427	△2,877
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,743	3,563
現金及び現金同等物の期首残高	22,412	71,221
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	212	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,881	74,784

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日）

	飲料・食品の 製造・販売事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1)外部顧客に対する 売上高	175,886	1,301	177,188	—	177,188
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	96	97	(97)	—
計	175,887	1,398	177,285	(97)	177,188
営業利益又は 営業損失(△)	3,474	257	3,732	(5,079)	△1,346

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日）

	飲料・食品の 製造・販売事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1)外部顧客に対する 売上高	167,969	1,213	169,182	—	169,182
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	22	23	(23)	—
計	167,970	1,235	169,206	(23)	169,182
営業利益	5,328	242	5,571	(4,291)	1,280

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分を基として行っております。

2. 事業区分

(1) 飲料・食品の製造・販売事業…飲料・食品の販売、飲料の製造、運送業（飲料物流）、自動販売機関連事業

(2) その他の事業 …不動産事業、保険代理業、運送業（飲料物流以外）、外食事業

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日）および当第2四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日）

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社および在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日）および当第2四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日）

前第2四半期連結累計期間については、海外売上高がないため、該当事項はありません。また、当第2四半期連結累計期間については、連結売上高の10%未満であるため海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。